

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	スポーツ・芸術探究コース		訪問国	英国	
学校名	日本大学三島高等学校	氏名	原季実珂	学年	2年

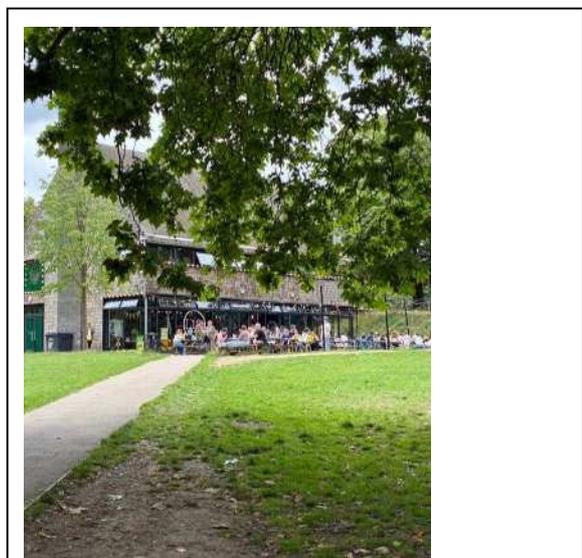
私は今回日本の子供達が伸び伸び過ごす空間づくりを学びに英国に留学しました。私は小さい頃から建築や街づくりなど人々の生活に関わるライフスタイルデザインに興味がありました。そこでトビタテの留学のテーマも建築や街づくりをもとにしたものしたいと考え、自分の幼少期を振り返り伸び伸びと過ごしていた場所である公園をテーマに選びました。公園をテーマに選び調べ進めていくうちに日本の子供達の公園の利用率が低下していることに気がつきました。外に出なくても遊べる家庭用ゲーム機、スマホの普及などが原因に挙げられています。公園が栄えている国はどこか調べていくと英国という場所が多く挙がっていてその理由は英国で公園は憩いの場、交流の場で週末に頻繁にイベントを開催しているからと調べていくうちにわかりました。以上のことから私は英国の公園を調査しに行こうと決意しました。

私の主な留学中の探究活動は英国での公園の調査、アートスクールでの作品制作、現地でのアンケートの実施です。

公園の調査では今回3つの公園にいきました。それぞれの公園の特徴や共通点を調査し日本の公園に取り入れるべき物を考えました。

英国の公園は子供達が遊ぶ場所と大人達が休憩する場所が分けられておりさまざまな年齢層の人たちが公園を楽しめること、公園が道路を挟んで点在しており通勤通学中、ペットの散歩など公園を日常的に利用しやすい工夫がされていると感じました。

その中でも私が一番英国の公園で素晴らしいと思ったのは子供が遊ぶ場所であるプレイスペースが柵で囲われていることです。入る時にロックを開け、入ったらロックを閉める仕組みでこの仕組みにより子どもを迷子や誘拐から守ることができるかつ、私たちの様な学生、大人達が意図せず子どもを傷つけることもなく気を使わず伸び伸び過ごすことが出来る仕組みだと思い日本にも是非取り入れるべきだと思いました。



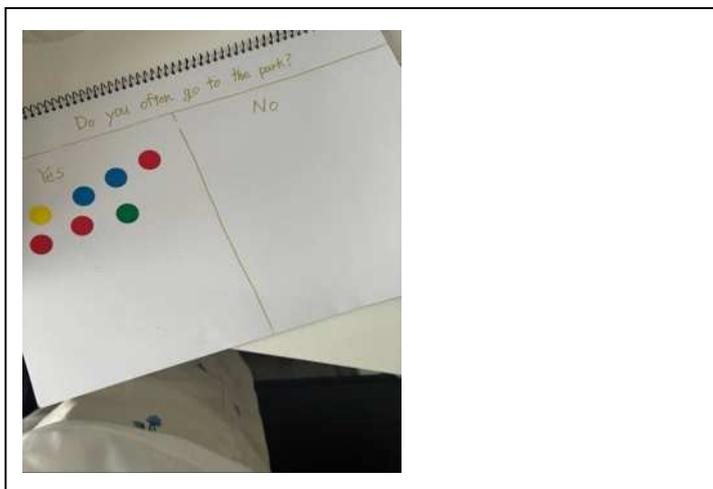
アートスクールでは理想の公園というテーマで作品制作をしました。

先生からジオラマの作り方を教えてもらったり、公園の調査をもとに日本にこんな公園があったら良いなーということを考えながら作りました。制作した作品は先生にも褒めていただき良い出来だと個人的にも思いました。



英国で公園に関するアンケートを行いました。

公園によく行くかどうか、公園にお気に入りの所はあるかなどの質問をクラスメイトや先生公園にいる人々に聞きました。アンケートの結果約 95%公園をよく利用すると回答しました。この結果からも英国の人々は日常的に公園を利用しており、生活に根付いているとよく感じました。



今回の留学と探究活動を経て。

英国に行く前、公園は子どもたちの為の場所であり子どもたちの事だけを意識していましたが英国の公園の様々な人々が公園を過ごしやすい場所として利用しているのを見て、子どもたちを軸としたより多くの人々が豊かに過ごせる公園を作っていきたいと思いました。そのためにも今後は公園の調査の幅を広げたり事前調査の年齢層を変えてみたりしようと思います。またこの素晴らしい留学の制度をより多くの学生に知ってもらうために講演を開いたりしています。そして将来静岡県に私の考えた公園を作り大きな目標である多くの人々が豊かに過ごせるライフスタイルをデザインすることの第一歩にしたいです。